

- 当社では、**未来の担い手である次世代層に、エネルギーや環境に関する知識を深めるための学習の場や機会を提供していくことが、エネルギー事業を営む当社の重要な社会貢献活動と認識し、重点分野の一つに「次世代支援」を掲げ、様々な取り組みを実施してきております。**



1 藤井聡太竜王・名人を起用した活動

① 藤井聡太竜王・名人が出演するテレビCMの放送

藤井聡太竜王・名人が出演する「一步応援」をコンセプトにしたテレビCMの放送を3月15日から開始。

ひたむきな努力を続ける藤井聡太竜王・名人の姿を通じて、勇気を持って一步踏み出すことを応援する当社の姿勢をお伝え。



1 藤井聡太竜王・名人を起用した活動

② 質問募集キャンペーンの実施

藤井聡太竜王・名人のサイン入りモバイルバッテリーが抽選で当たる質問募集キャンペーンを3月15日から開始。

③ ちゅうでんこども将棋大会

3月20日に日本将棋連盟と「ちゅうでん こども将棋大会」を共催。抽選で選ばれた約200名の小学生が参加。特別ゲストとして藤井聡太竜王・名人も参加予定。



2 グループ会社と一体となった次世代教育

グループ会社と一体となった次世代教育を開始。でんきの科学館で(株)テクノ中部による「生き物の骨を知ろう」と題したワークショップ（3月16日）や、エレキッズ会員に向けた、中部精機(株)によるドローン操作体験を予定（8月11日）。



「生き物の骨を知ろう」ワークショップ



ワークショップ開催イメージ

3 次世代向けHPのリニューアル

次世代向けホームページにおける、でんきの仕組みを始めとした「でんきのあれこれ」を学ぶページを3月下旬にリニューアル。より楽しみながら学ぶコンテンツへ。



4 でんきの科学館の展示物の多言語対応化

3月下旬からでんきの科学館の展示物の解説を、英語・中国語でも実施。より多くの次世代層の方にご利用いただけるPR展示館へ。

主な次世代支援に関する取り組みの現状 (ちゅうでん壁新聞)

目的	児童に対して電力事情の周知や電気知識の普及のために発刊。現在では、電気だけでなく、宇宙、生き物、スポーツなど、いろいろなテーマについて子どもたちが楽しく学べるものとなっている。
発行開始	当社創立時の1951年より継続（2024年2月現在773号発行）
発行方法	B2紙1枚に印刷し年6回郵送。また、当社ホームページにも同じ内容を発行日に掲載。
送付先	約3,000箇所 愛知・岐阜・三重・長野・静岡（富士川以西）の公立小学校（一部私立小学校も含む）、養護施設、トワイライト教室、児童館、教育委員会・図書館など。
テーマ	子どもたちの「なぜだろう」「どうしてだろう」という疑問から、新たな気づきや発見を見い出すことができるものや、授業で活用しやすい内容を基本とし、幅広い分野でテーマを選定。



第755号「電気を支える人々」2021年1月



第766号「SDGs」2022年11月



第767号「ウサギ」2023年1月

主な次世代支援に関する取り組みの現状 (出前教室①)

目的	「環境・エネルギー教室」、「電気実験教室」、「放射線教室」などに関する授業を実施し、学校教育を支援する。
開始時期	2002年度
実施形態	社員やでんきの科学館スタッフが学校に出向き、「総合的な学習」「理科」「社会」などの1コマを実施。
対象	愛知県・三重県・岐阜県・長野県・静岡県（富士川以西）の小学校3～6年生と中学生
2022年度実績	329回（10,024人）



実施風景



教材



パンフレット

主な次世代支援に関する取り組みの現状 (出前教室②・施設見学会)

- 2021年度には教育現場からの希望が多かった「SDGsと電気」を作成し、メニューとして追加。



環境・エネルギー教室Ⅳ
SDGsと電気

スライドとクイズを中心に、SDGsの基礎知識とエネルギーや環境も学べるコースです。

対象 ●小学生(高学年)～中学生 **時間** ●45分程度


活用科目 ●(例)総合学習、理科、社会、家庭科など

授業のポイント

- SDGs17の目標を紹介するとともに、エネルギーや環境にも焦点をあて自分たちに何ができるか考えます。
- 世界が直面する課題を顕微鏡ある写真などで伝え、SDGsの取り組みを自分事として考えられるように工夫。
- ワークシートを使って、自ら疑問や課題と向き合い、自分の考えを深める機会を作ります。

SDGsのはなし
SDGs17の目標を学ぼう
エネルギーについて考えよう
発電方法のはなし
まとめ

わたしたちの未来とエネルギーのこと、一緒に考えてみませんか？

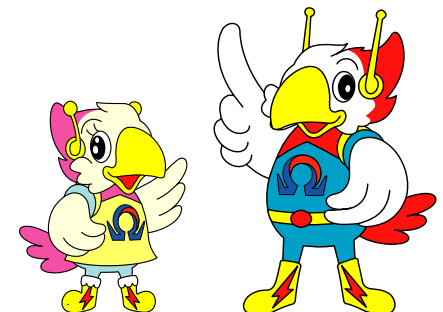
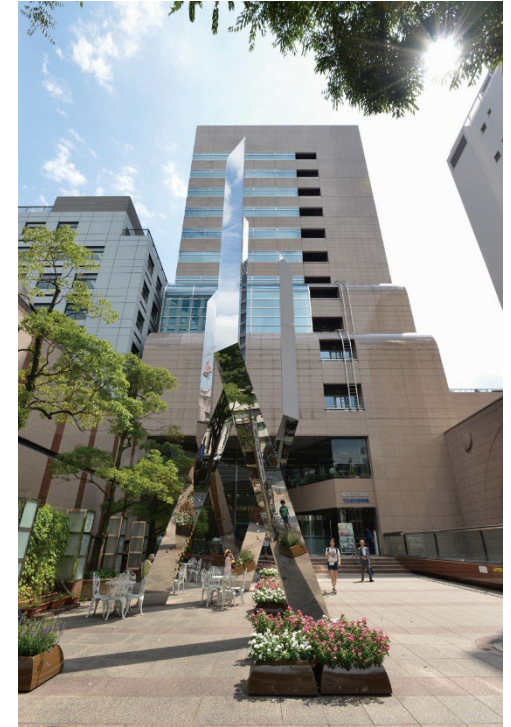


■ 施設見学会概要

目的	電気がどのように作られ、届けられるのかなど、実際の施設の見学を通して学ぶ機会を提供する。学校の社会科見学などにも活用していただいている。
実施形態	小学生から高校生までの団体（少人数グループでの申込も可能）を対象に事前予約制で実施。
見学施設	発電所（水力・太陽光）、変電所、給電制御所、営業所等
2022年度実績	61回（776名）

主な次世代支援に関する取り組みの現状 (でんきの科学館①)

目的	エネルギーと電気事業の一層の理解を得るとともに、電気やエネルギー、環境など広い意味での科学に関して興味を持つきっかけとしてもらい、知識の向上に役立ててもらうことを目的としている。 主に小学校から中学生を対象にしており、展示室には、展示館スタッフと共に楽しく学べる参加型の展示物や実験ショー、各種イベントを多く用意している。
開館	1986年7月20日
所在地	名古屋市中区栄二丁目2番5号 (地下鉄伏見駅から徒歩5分)
入館料	無料



主な次世代支援に関する取り組みの現状 (でんきの科学館②)

■ 2020年10月に各展示室のリニューアルを完了。現在の様子は以下のとおり。



3F「オームシアター」



4F「学習ひろば」



2F「ウェルカムゲート」



3F「地球とエネルギー」



4F「ふしぎのくに」



3F「電気の旅」

主な次世代支援に関する取り組みの現状 (サイエンスクラブエレキッズ)

目的	科学・エネルギーなどに関する情報提供をはじめ、「見て・ふれて・体験する」さまざまなイベントを通して、会員の方々に楽しく学び、幅広い分野に関心を高めていただくとともに、豊かな創造性を育むことを目的としている。
会員資格	愛知県・三重県・岐阜県・長野県・静岡県(富士川以西)在住の小学3～6年生
会員数	5,024人 (2024年2月20日時点)
会員募集方法	当社HP、でんきの科学館・浜岡原子力館でのPR、公式SNS、その他広告



会報誌「エレブック」



会員限定HPオリジナル動画



プログラミング教室他 各種イベント

主な次世代支援に関する取り組みの現状 (環境エネルギー塾)

目的	なごや環境大学と連携した企画。次世代を担う学生（主に大学生）が、環境・エネルギー問題の現状や当社事業等について、発電所見学や、座学・意見交換を通じて、理解を深めていただく。
開催実績	2023年8月29日（火）、9月6日（水）、9月14日（木）の3日程
カリキュラム	8月29日：でんきの科学館、川越火力、MSかわごえ、電力史料館 9月 6日：浜岡原子力、御前崎風力、NUMO講座 9月14日：長良川水力、放射線講座、 グループワーク（テーマ：「日本の最適な発電バランスとは？」）

